



第79回国民スポーツ大会冬季大会(スケート・アイスホッケー6日目)

アイスホッケー競技開幕! TEAM福岡成年男子・少年男子それぞれ1回戦から躍動!

1日(土)、岡山国際スケートリンク、ヘルスピア倉敷アイスアリーナにおいて、アイスホッケー競技が開幕。スケート競技会から受け継いだバトンを握りしめ、成年男子が1日(土)、少年男子が2日(日)に1回戦を戦った。

TEAM福岡成年男子、兵庫県に快勝し、2回戦進出! 上位入賞に向けて好スタート!!

1日(土)、ヘルスピア倉敷アイスアリーナにおいて、成年男子1回戦が行われた。本県の対戦相手は兵庫県。序盤は主導権争いから攻守が激しく入れ替わる展開となるが、第1ピリオド5分、遂に試合が動く。本県井藤貴大選手(株)福岡銀行のシュートが決まり、1-0とリードを奪った。その後1点を返されるも、直後に矢野健志朗選手(福岡市立西陵中学校(教))が追加点を挙げ、再び2-1とリードし、第1ピリオドを終えた。

第2ピリオド以降は、本県が主導権を握る展開となり、各ピリオドで点数を重ねた。そのまま試合終了となり、5-1で本県が勝利し、2回戦進出を決めた。2回戦の対戦相手は岩手県。勝てばベスト8以上が決定する!

キャプテン渡邊佳鴻選手(九州旅客鉄道(株))のコメント

今まで練習した成果が出て、プラン通りの試合ができた。この勢いのまま2回戦も勝ちたい。また、たくさんの応援が力になりました。次の試合も応援をお願いします。



本県成年男子



試合中の様子1



試合中の様子2

TEAM福岡少年男子、熊本県との九州対決を制し、準々決勝進出&ベスト8以上確定!!

2日(日)、ヘルスピア倉敷アイスアリーナにおいて、少年男子1回戦が行われた。本県の対戦相手は熊本県。

12月に行われた九州ブロック大会においては、本県が勝利を収めているが、リベンジに燃える熊本県が序盤から果敢に攻めてくる展開となる。しかし、第1ピリオド4分に、本県田中慶一郎選手(筑陽学園高校)のシュートが決まると、ここから本県のゴールラッシュが始まる。第1ピリオド終了時点で5-0と大きくリードを奪い、その後も本県が優位に試合を進めた。試合は11-0で勝利し、準々決勝進出(ベスト8以上)を決めた。※準々決勝の相手は大阪府

キャプテン博多千豪選手(九州産業大学付属九州高校)のコメント

チームの目標はベスト4で、この1回戦は目標達成に向けての重要な初戦であったが、上手く勝利することができた。この勢いでまだまだ頑張っていきたい。次に対戦する大阪府は強いチームであるが、一つ一つのプレーを集中して行っていけば、必ず勝てると思う。2回戦も応援よろしくをお願いします。



本県少年男子



試合中の様子1



試合中の様子2

2日(日)終了時点での本県の成績 男女総合成績(天皇杯)11位 女子総合成績(皇后杯)10位